

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 長島町横満蔵の木曽川右岸堤防を下流側から望む

エ リ ア： 三重県

撮影箇所： 長島町

撮 影 日： 1959 年

撮 影 者： 旧建設省

資料提供者： 木曽川下流河川事務所

状 況： ー

現地状況、コメント等

〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕
伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものであり長島町横満蔵(木曽川右岸 2.8k 附近)である。伊勢湾台風当時、木曽川右岸は河川改修工事(土砂をタワーエキスカベーターで掘削し、川面に吹き付け、ブルドーザで寄せ均して盛土する)を実施しており、土運搬用のトロッキレールが被災を受けている。踏査時の調査表には以下のように整理されている

<10 月 13 日 災害状況調査表>

●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：健在、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂、水防状況：不可能

●溢流しているか：しなかった、その時刻：21 時頃が一番激しかった、

●波の来た方向：南南東～南東、しぶきがこしたか：あった、その高さ：天端まで

●木の傾いている方向：北、何度位(地面に対し)：60° ～80°、樹種：マツ

●電柱が傾いている方向：北北東、何度位：80°、電線がついているか：ついている

●草がねていたか／その方向：北、場所：表法下、大きさ：0.5～1.0m

●堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失全壊、一部健在する家もある

・堤内地松蔭方面から先に水が来た、表面面は波浪によるもの

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用